

令和6年 8月の思いやり通信



太陽光、主戦場は屋根へ

メガソーラーは開発地に限り

大成建設 充放電、「秒」で管理

東急不動産 自治体や学校開拓

*大成建設の工場向けの新サービスでは、工場の屋根に太陽光パネル、建物の敷地内に蓄電池を設置し、人工知能（A I）でシステムを制御。

*蓄電池を秒単位で制御し、電力消費量に応じて電力を放電するか充電するかを瞬時に切り替えます。

*電力システムは工場1施設当たり1000万円程度で提供。

*製造業が最終的に消費するエネルギー量は2022年度に全部門の42%を占めます。

*家庭部門15%、運輸部門24%。

*東急不動産は、自治体の建物での太陽光パネル設置サービスを全国に拡大。

*大東建託は、自社で手掛ける賃貸住宅の屋根に設置する太陽光パネルに発電容量を、2030年までに2012年までの累計の2.1倍までに引き上げる計画。

*物件のオーナーに屋根を有償で借り、太陽光パネルを設置。

*平地が少なく、国土の3分の2を森林が占める日本では、メガソーラーの開発余地が小さいことがあります。

（2024年7月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

